

広報



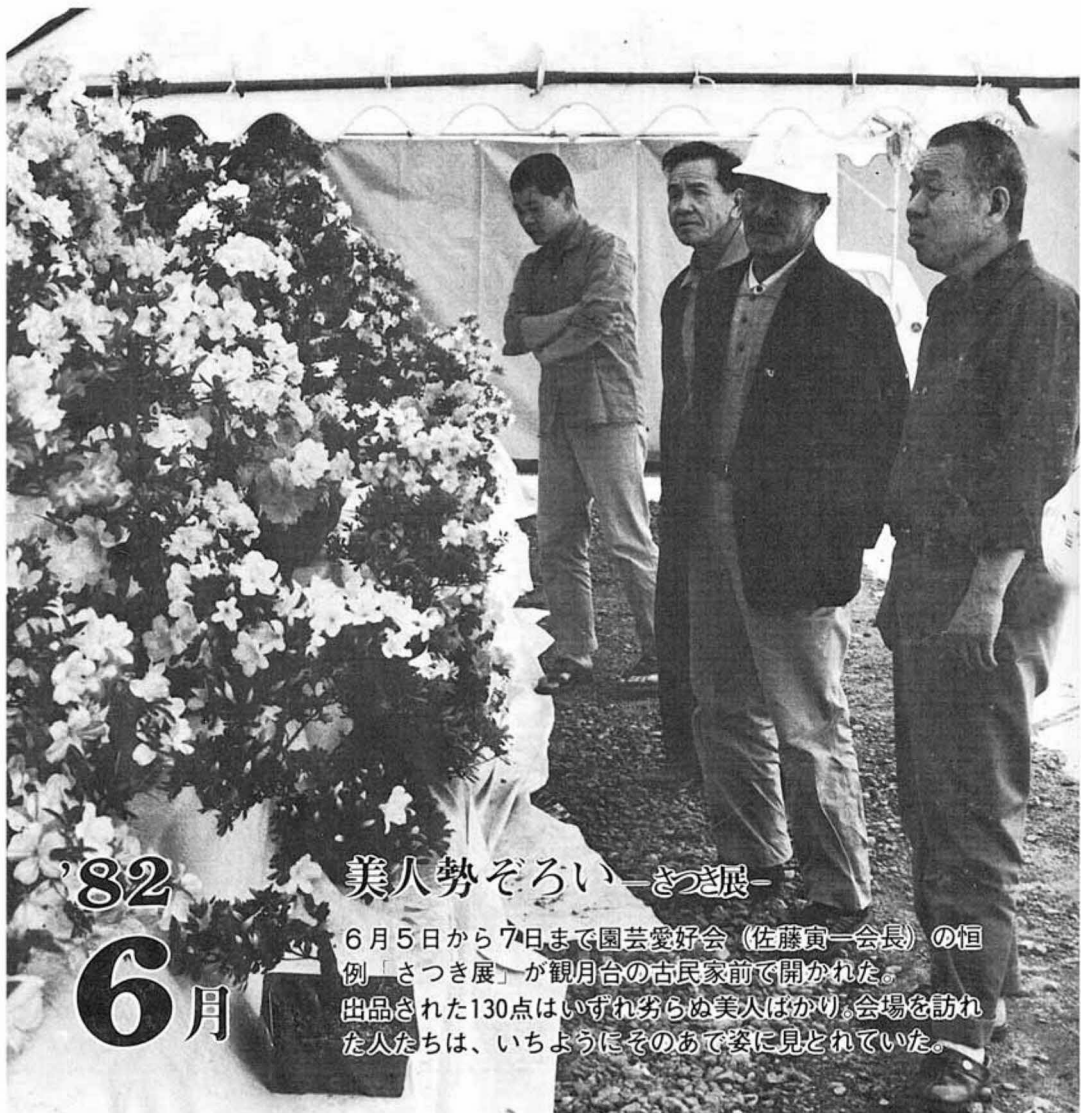
No. 108

昭和57年 6月15日

発行・編集 国見町企画課

おもしろ内容

- ゴミを捨てるのはダレ……………2~3
- 濁水対策施設が着々完成……………4
- あの人この人……………5
—村上鉄男さん—
- おしらせ……………6~7
- 公民館だより……………8~9



'82

6月

美人勢ぞろい—さつき展—

6月5日から7日まで園芸愛好会（佐藤寅一会長）の恒例「さつき展」が観月台の古民家前で開かれた。出品された130点はいずれも秀らぬ美人ばかり。会場を訪れた人たちは、いちようにそのあて姿に見とれていた。

環境をつくりましょう (町民憲章から)

ものは ダレ!



道路にも空き缶が散乱

飲んだあとあなたは?



今、「環境美化」ということばの中心問題になっているのは、道端や空き地、公園など所構わず投げ捨てられている空き缶です。

缶ジュースなどは全国で年間百億本が出回っており、国民一人当たり年間八十本が飲用されています。このうち回収・再利用されているのは三〇％程度といわれています。

町内の国道、県道、町道わきにも空き缶が散乱しています。町民だけが投げ捨てるわけではありませんが、まず初め国見町民から「グリーン国見」を目指したいものです。

本県でも六月九日、生産者側も加った官民一体の「グリーン福島を考る会議」が発足し、本格的な汚染防止運動に乗り出しました。

年間三百億円がボイ捨て

空き缶問題は、環境汚染と同時に資源の無駄遣いでもあります。一本当たりの缶代は三十円くらいです。から百億本のうち十分の一が「ボイ捨て」されると仮定して、年に三百億円が捨てられる勘定です。さらに市町村の回収処理費はもっと多い額になるといわれます。空き缶対策は今後いろいろな作戦

が立てられるでしょうが、何んといっても、モラル確立が最少の経費で最大の効果上げる最良の方法に違いありません。

自分が飲んだあとの空き缶は、自分で始末する。ただこれだけのことです。今日から皆んなで実行しましょう。

大木戸小で空き缶拾い

五月十二日、大木戸小学校では一年から六年生まで百三十三人の児童が総出で空き缶拾いをしました。場所は、町民グラウンド周辺旧国道、四号国道添いで、集ったゴミは四トントラック一台分。毎年行っても減らない空き缶、もう捨てないでと皆んな声を大にして叫んでいます。



もう捨てないで

「ごみと空き缶の投げ捨てが公害はいまや全国的に放置できない問題となっています。いわば使い捨て文化のツケが回って来たともいえるわけです。

5月30日を「ごみゼロの日」と読んで関東一円の都県では今年からこの日を中心に住民に「環境美化」を訴え始め、福島県でも官民一体となった空き缶対策の会議を発足させました。

個人のモラルの問題を越えたとして厳罰主義や回収方法としてデポジット制が考えられています。しかし、これはまだまだ時間がかかります。

今すぐ誰にでもできることは「ごみを捨てない」ことです。「ごみ問題は啓発に始まり啓発に終るともいわれます。自分の周りからごみを追放しよう。そして「自分の周り」の範囲を大きく広げていきましょう。」



川は泣いています



吉田勝由さん
(藤田公園管理会長)

「街の中心に素晴らしい公園がある町はあまりありません。ぜひ皆さんで大切にしたいものです。利用される方はゴミや空き缶をクズカゴに入れてください。犬を散歩させる人も多いのですが、フンの始末を必ずお願いします。公園をいつもきれいに保ちましょう。」

観月台公園は、市街地の中心にあり、桜、つりの名所として、また農業市、花火大会などの行事の場として、町内外の人たちから親しまれている憩いの場です。藤田公園管理会は、きれいな公園を守ろうと藤田地区七つの部落会長さんらで組織されているもの

公園をきれいにしよう

で、草刈や清掃などの労力奉仕をはじめとした環境浄化に活躍されています。六月二日、委員総出で草刈、立木の枝払いなど一日がかりの作業をしました。

会長の吉田勝由さん（宮町北・七十歳）からのお願いです。

きれいで、清けつな

ゴミを捨

川や山にごみを捨てないで、

ごみは、所定の場所に、決められた日に出せば回収されるシステムになっているにもかかわらず、川や山に捨てる人がいます。このような一部心ない人のために川や山が汚れています。川の中州には、プラスチックの容器類や野菜・果物の食べ残しが打ち上げられ悪臭を放っています。また、林道の斜面には粗ごみが投げ捨てられている所もあります。自分の家の周りだけきれいな

ればいいというのでは社会が成り立っていきません。ぜひルールを守って不法投棄を止めましょう。河川愛護月間中の七月四日、町では、保健委員の皆さん等の協力を得て、河川のクリーンアップ作戦を行う予定です。大仕事にならないようお願いいたします。美しい川をとりもどし、子どもたちが、安心して川遊びができる環境をつくるのはわれわれの努めです。



山はおこっています

公園に吸いながら 入れを取り付け

— 1 つり研究会で —



取り付けられた吸がら入れ

園見へラブナリ研究会で会長菅野正一さんでは、五月十二日、観月台公園の沼のフェンスにタバコ投げ捨て防止用の吸がら入れを取りつけました。空き缶をきれいに塗装し、散歩する人とつり入用にフェンスの両側に四十個を会員が総出で取り付けたものです。そのかいあって沼や歩道にも吸いながらみられなくなっています。そのかわり吸がら入れは満杯、これを片付けるのも会員の皆さんです。公園に出掛ける人は、ぜひこの吸がら入れを利用してください。

渇水対策施設が着々完成

昨年度から始まっている新幹線渇水対策事業の施設が着々完成しています。

このたび完成したのは、石母田から貝田までのパイプラインと高城から貝田までのパイプライン、それに貝田駅近くの大師調整池、石母田のパイプラインは、延長

三・六〇。トンネルからの出水をポンプアップして土平の中間水槽まで標高差二百メートルを送り、貝田水天宮の牛沢川に導きます。水量は毎分一・二。

一方の西根堰からのパイプラインは、延長一・八。高城から新田山の中間水槽まで百二十五メートル

標高差をポンプで送り、そこから自然流下で調整池に入れていきます。こちらは灌漑期に毎分〇・六五の水量を送り出します。大師調整池はコンクリート造りで四千立方メートルの貯水が可能です。これら三つの施設には約四億円かかりました。本年度も太田沼改修外二カ所の事業が予定されています。

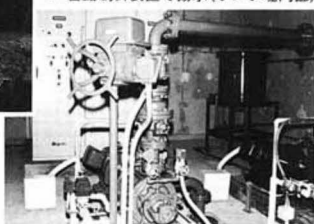


▲ 大師調整池



▲ ポンプ場 (高城)

▼ 自動制御装置で揚水(ポンプ場内部)



撮影 高橋昭一さん(内谷の山林で)

カモシカは、国の特別天然記念物に指定されている大切な動物です。

このカモシカは、四月から七月にかけてが出産期で、この時期になると、よく赤ちゃんが届けられます。山菜採りに行った人が、カモシカの赤ちゃんを見つけ、あたりに母カモシカが見えないのでこのままにしては可愛そうと里まで連れ帰ったという例もあります。

ほかの動物は、人を見ると逃げますが、カモシカの赤ちゃんは人について来てしまうようです。生後五十日目までは、親も敵も識別できないようです。山でカモシカの赤ちゃんを見つけたとき、またはついてきて離れないようなときは、そっとそこを離れるか、追いついてそこを離れるかして、赤ちゃんをそのままに

しておいてください。親カモシカの姿がそこに見えなくても、必ず付近にいて、じっと赤ちゃんの行方を見守っています。人が立ち去れば、すぐにとんで赤らちゃんを安全なところに連れていくはずですが、いちど人の世話になったカモシカは、もう母親のところにも、野性の生活にも、もどる方法が失ってしまいます。親なしカモシカを作らないために、どうか協力ください。

なお、ケガをしたり、病気にかかっているカモシカを見つけたときは、できるだけ早く教育委員会に連絡をしてください。それ以外の誤った善意や、自分なりの解釈によつて、かえってカモシカを不幸にしてしまわないようにしましょう。

ご存知ですか

人権擁護委員制度

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

わたくしたちの町には、町長から推薦されて、次の方々が人権擁護委員として、法務大臣から委嘱をうけています。

◎ 国見町大字小坂字小坂三七

佐藤 善次郎

◎ (一〇四五八五)二六四四

◎ 国見町大字藤田字北四〇

佐久間 岩吉

◎ (一〇四五八五)二二〇三

◎ 国見町大字塚野目字北塚二八

佐久間 いち

◎ (一〇四五八五)四一三八

人権は、人間が平和に生存する上で、最も大切な権利です。お互いに人権を守って明るい社会をつくりましょう。

県政モニターに実沢さん



昭和五十七年度の県政モニターに実沢恵美子さん(第三・二・二十五)



佐藤 善次郎さん



佐久間 岩吉さん



佐久間 いちさん

※ 人権に関する相談がありましたら、お気軽にどうぞ。相談は無料、秘密は守られます。

歳)が委嘱されました。

この制度は、県政に関する県民の意見、要望等を組織的、継続的に聴取し、行政の参考にするために設けられたもので、任期は一年間です。羽賀英二さんから六月一日でパトナツチされました。かつ達な中にも詩作が好きたという繊細な一面も持った実沢さん、よろしくお願いします。

あの人-この人

57

講談家 村上鉄男さん

大木戸遠光原21(62歳)



「われこそは、北田中條源正教の御内にて、小山藏人貞朝なり。降参の引出物この矢を受けて存じ候へと、三人張りの強弓に十三束の矢をつがえ、キリキリキリッと満月の如く引きしぼる。つる音高く切つて放てばあやまたず、高の武威守の後にひかへし栗田太郎の胸板後へぐつと射通しければ、馬より下にとどろと落つ、……」

国見町史第二巻に掲載されている塚の目城落城の一節である。台本なしで語る村上さんは日焼した頬を一層紅潮させ、体を斜に傾けながら朗々と語っていった。

小さいときから記憶のよさは抜群であつたという。太平洋戦争たけなわの頃、新兵教育を受けた村上さんは、戦陣訓を十日間で丸暗記。そのため、同年兵は勿論上官からも村上上等兵殿と、半分さげすみともとれるひやかしを受けた。以来人の前では記憶のよさを見せなくなつたという。

お話しを伺っていると、いつも「わ印」ものが多いので、その道の大家かと思つていたところ、夜の寝しなに読んでいる」といつて見せてくれた本は、「自分を創る」、「文明が衰へるとき」と、固い哲学書が多いのに驚いてしまった。

豊富な話題と人の意表をつく習才で、回りにいる人をあきさせない。「話し始める」と時間観念がない、家族にはいつも迷惑をかけている」といつては別には恐縮しているふうもない。

講談は、最初に人名を覚えることがコツだという。「雲山軍記」抄の塚の目合戦記をおつかの間、にそらしたが、人前で語つてみなければ自信がつかないので、家族を相手に講釈をした。いまでは「吾妻鏡」の阿津賀志山合戦記なども自在にこなす。

語るほどに興が湧き、今度はお経の講釈を始める。観音経を奏けると玄人の坊さんも顔負けという声のよさである。

そのほかにお茶吞み話しのお遊ばしに、観相もやるといふ芸芸あり。「エーあなたの手相をうかがい観ますと、天紋、地紋、人紋とも、実にはのびのびとして乱れがなく、あなたは、過去、現在、未来ともに健康に恵まれ、徳運のそなわつた方です。向後もますます幸福な一生を送れるでしょう」

なかなかどうして、その辺の大道易者など足元にも追いつかない親たて振りで、旅行のときなどは皆にもってはやられ、長旅の車の中或は宴会の席で、人をあきさせないという話術も心得ている人徳の持主である。



文化財のパンフ レットを刊行

町教育委員会で、このたび文化財の紹介のため、一部カラー写真入りのパンフレットを刊行しました。国史跡の阿津賀志山防塁外二十二の文化財を説明付きの写真で紹介、さらに、場所がわかるよう地図を載せています。
ご希望の方は、町教育委員会にどうぞ。



国税だより

税金はみんなの ために使われる

私たちが健康で快適な生活ができるように、国や地方公共団体は、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育や科学の振興など、幅広い分野にわたって活動をしています。これらの活動に必要な費用は、

私たちがみんなが社会共通の経費として分担し、出合っている「税金」で賄われています。

そこで、私たちの納める税金千円がどのように使われているのか、昭和五十七年度の国の一般会計予算で説明しますと、

- 私たちの健康や生活を守るために……………二百一十億円
- 住宅や道路などの整備のために……………百二十億円
- 教育と科学技術の振興のために……………百億円
- 地方財政の援助のために……………百九十億円
- その他物価の安定、中小企業の振興、省エネルギー技術の研究開発などのために……………二百六十億円

となっており、私たちの生活がより豊かになるように、大切な税金が使われています。

みんなの川です。
大切に
7月は「河川
愛護月間」です
建設省 福島工事事務所

交通事故無料 相談のご案内

福島県

交通事故の被害者や加害者のために、弁護士の助言を得ながら、損害賠償の問題や示談について無料相談をしています。

場所・県庁本庁舎二階県政相談室
☎〇二四五(二二)一一一
内線三九一・二二九三
お気軽にご利用ください。

「尋ね人」

菊地久良子様、大正十年生れ
横浜市西区西戸部町三ノ二八三
に住んでおられた方です。東京都
目黒区上目黒二ノ四一ノ七鈴木木
鶴子様が探しています。お心当り
の方は役場企画課(☎二二一一)
にお知らせください。

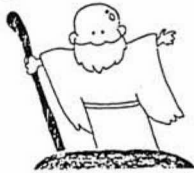
遠光原の 見渡様

語り 村上鉄男

ある秋の寒い夕方のことです。背戸の山で火をたいて暖を取っている人がいました。落葉もたくさんあるので、「危ないから気を付けよう」と行ってみますと、年若い眉白く、白いひげをはやした品位のある老人でした。

「お前様は春五郎のおかみさんかや、わしは見渡りじや。実はお前さんに頼みがあるのでここで待っていたのじゃ。わしは住む所が定まらなくて困っている。遠光原の山にいたのだが、山が売られて赤坂山に移され、その赤坂山がまた

昔ばなし



売られその向いの地に移されてしまった。どこか安心していられる永住の地が欲しいのじゃ。お前様の屋敷の隅にでも祠を建ててくれるようにしてほしい。」と

哀れな願いに「相談します」と帰ったところでおかみさんは目がさめた。それから数日後今度は催促の夢をみせられた。なんとも不思議な夢を二度まで見たものだ、直ちに祠を作ってお祭りをするこたになりなりました。

石材は、馬の声のとどかない所という見渡様の言葉とおり、入山のいぼ石まで行ってソリで運び、河原の庄之助様に作ってもらいました。そこで屋敷の阿部八十八様などを招んで、栗野の法印様に拜んでもらい、もろなどまいてお祭りをしました。

それからは見渡様も安住の地を得てむらを鎮守しています。また、見渡様はニンクがお嫌いなので大木戸部落では誰も作りません。子供の風邪、百日咳になった時にお参りすると、不思議になおるといわれています。

毎年旧三月十五日が例大祭で、遠光原のカアちゃんたちが赤坂やお煮などを作って参拜の人たちに振舞っています。おかあさまやおばあさまに手を引かれた子供たちの喜々とした姿に、さぞ見渡様も満足でしょう。

思い出の写真

八幡塚古墳

写真は、塚野目古墳群の雄、八幡塚。終戦間もない頃、雪降る日に撮ったものである。太陽が雪にかすみ、古墳上の松の太木がシルエツトになり天にのびている。

佐久間直次さん（第十一・七十
四歳）の話。

「当時、古墳群の形は比較的残っていたように思う。その中でもこの八幡塚には百年以上の赤松の太木が十数本あり、うっそうとした森だった。戦時中、食糧増産訓練や訓練後の指導のため、月単位



(撮影は熊田一怡さん)

※思い出の写真を募集しています(企画課へどうぞ)



佐久間 直次さん

で各県を回っていたことがある。故郷に久しぶりに帰ってくる汽車の中から遠くこの森が目に入ると、ほっとした安堵感があった。

松は、昭和二十七年頃、塚野目公民館新築資金の一助のため、地区民論議の末、惜まれて切り倒された。しかし、城を出土する前方後円墳として、東北でも十指の規模に入る八幡塚は、千古の歴史を秘めて今もその勇姿をとどめている。

善意の窓

町福祉協議会に

◆羽根俊一さん(駅前)から三方
円一故善一さんのご遺志

県北中学校に

◆羽根俊一さん(駅前)から三方
円一故善一さんのご遺志

雨の日の安全運転!!

◆◆梅雨期の交通事故防止◆◆

狭い道路への乗り入れは、十分注意しましょう。
～シートベルト みんな知ってる 忘れてる～
シートベルトを着用しましょう



藤田駐在所・交通安全藤田部会

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室
(東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

【相談員】
6月25日(金) 曳地 善作 牧野 容子
7月5日(月) 佐久間 巖 築瀬 貞子
7月15日(水) 樋口 弘 佐藤 マサイ

こよみ	
6月 水無月(みなづき)	7月 文月(ふみつき)
20日 父の日	1日 国民安全の日
桑折・国見マラソン大会	7日 ヒタ
(桑折町で)	9日 上田敏忠(大5)
22日 夏至	森鷗外忌(大11)
23日 東北新幹線開業	14日 検疫記念日
30日 中学校郡水泳大会	15日 中元
(福島市)	

不法電波をなくすために

無線機は免許を受けて使いましょう

無線機器型式検定合格マーク

東北電波監理局



国見町公民館
電(公) 2676
話(有) 4156

冠婚葬祭を 簡素化しよう

新生活運動推進

委員会総会終る

昭和五十七年度町新生活運動推進委員会総会が五月十七日午後一時三十分から町公民館で、来賓に顧問の町教育長、町議会副議長、商工会会長出席のもとに行われました。

総会は、遊佐保平委員長のあいさつ、来賓の祝辞があり、協議事項審議に入り、活ばつな質疑応答のあと、提出案件は、満場一致で承認されました。

次に昭和五十七年度重点努力事項は次のとおりです。

- (一) 何によりも心のつながりを大切にしましょう。
- (二) 冠婚葬祭の簡素化を推進しましょう。
- (三) 会合の時間を厳守しましょう。
- (四) 広場や道路や川などを汚さ



母と子の 公民館活動

七年目をむかえた

子供の情操をより豊かにし、明るくすこやかに成長するようにと、母と子がいっしょになつて読書と創作活動を行っています。今年で七年目をむかえました。

- (一) 祝祭日には、国旗をかがけましょう。
- (二) ないようにしましょう。
- (三) すべての資源を大切にしましょう。
- (四) 祝祭日には、国旗をかがけましょう。

毎月一回、公民館の移動文庫が各地を巡回して、児童向け図書貸し出しをしています。

創作活動は、内池和子指導員を中心に指導員補佐(六名)・公民館職員が行っています。

子供たちは、毎月一回、ふるさとの遊びや、大型紙しばい、人形劇などを楽しみにしています。

公民館では、お母(父兄)さんにも、ぜひ一度ご参加くださるようお願いいたします。

募集します

明日の親の

ための学級生

(ニユーファミリークラス)

教育委員会と公民館では、現在「明日の親のための学級」の学級生を募集しています。当初六月二十五日開始の予定でしたが、諸々の事情により八月二十日より開設することになりました。これから親となる方も若い独身の方もあるいは教養を身につけた方も奮って参加してください。

内容 一般教養、妊娠、育児

健康 マナー、料理等

期日 八月二十日より十月二十

二日まで

毎週金曜日午後七時三十分

場所 国見町公民館

昭和57年度 スポーツ行事一覧(上半期)

月	日	行 事 名	場 所
5	12	ソフトボール審判講習会	公 民 館
6	13	職場対抗ソフトボール大会	町 民 運 動 場
	20	桑折・国見マラソン大会	桑 折 町 会 場
	24	バレーボール審判講習会	体 育 館
	27	県民スポーツ大会(壮年ソフト・家庭バレーボール)	運動場・体育館
7	11	町民ソフトボール大会(伊達地方予選)	運 動 場
	14	県民スポーツ大会(バドミントン・卓球)	体 育 館
	18	町民ソフトボール大会(伊達地方予選)	運 動 場
8	1	町民野球大会(伊達地方予選)	町 民 運 動 場
	8	女子ソフトボール大会	運 動 場
	15	高校生球技大会(ソフト・バレーボール)	運 動 場
	29	親子サイクリング(町内史跡めぐり)	北 中 内
9	夏休中	親子安達太良登山	町 民 運 動 場
	5	伊達地方体育協会主催球技大会	安 達 太 良 山
	12	職場対抗球技大会	体 育 館
	19	少年柔道大会	体 育 館
	9月中	テニス教室	体 育 館

◆乳幼児学級からお礼

「ボランティアの方、また、遊具の不用なものがありましたら」

とお願いしましたら次の方が申し出られご活躍いただいています。

藤田の梁瀬貞子さん、山崎の佐久間勝子さん(遊具も提供)

ご協力ありがとうございました。

文化団体紹介

はり絵クラブ

私達のはり絵クラブは、クラブとして発足したのは、昨年の一月とまだ日が浅いので会員は、現在八名と少人数です。

学習は、毎月第一、第三金曜日の午後一時から三時三十分まで、時間の過ぎるのも忘れるほど、楽しく熱中しております。

はり絵は、和紙や、きれいな葉子箱包装紙などを利用して、それを色紙にはり合せて一つの作品を

完成させるのですが、なかなか根気のいる仕事です。

講師は、塚野目の菊地昌子さんで、親切でいねいに指導していただき初心者でもすぐに一回の学習で一枚の作品を完成することができま

す。作品は、春の合同習作展や、秋の文化祭などに出品させていただいております。

なお、入会希望の方は、前記学習日に（公民館）へ一度見に来て下さい。

会長 小西絹子

公民館に

“つつき”飾る

藤田字中沢の和泉春吉さんが、公民館の会議室などがあまりにも殺風景なので、丹精こめた“つつき”を貸してくれました。ありがたいとございます。



婦人教養講座開講

五月三十一日午後一時三十分から堀切光孝教育長あいさつ、公民館担当者の開設要項説明のあと、第一回目の学習に入りました。

講師は、県教育庁県北教育事務所所猪俣好巳社会教育主事の「婦人の社会参加」について。

“ボランティア活動のすすめ方”など実践している方々の事例をまじえながら講義をされました。

出席者は、二十名。役員はつきの方です。

会長 佐藤 玲子さん(泉田) 副会長 佐久間勝子さん(山崎) 会 計 平 千代子さん(耕谷)

若林利子(泉田)、小西絹子・後藤洋子(藤田)、佐藤アイ子(山崎)、吾妻マサ(森山)、村上朝江(徳江)、阿部ノブ(大木戸)

これから希望される婦人の方は公民館☎二六七六へ。

文芸欄

あつかし俳句会

高湯路はお清水どころ心天
花桐や伯母の老後の美しき
薫風や些事もお聞きの石佛
疑刺るや鏡の中の柿若葉
佇めば亡き母想う白あやめ
雨暗れて袋田に鳴く河鹿かな
囀や雑談となりまきとげなく
囀は農家に優しきりげなく
小でまりのひねもすゆれる庭白し
新緑の峰連なりて山の茶屋

短歌

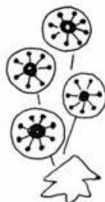
秋たけし山なみつづくいわしろの
国のまほらに遠く海見ゆ
牛去りし山の牧場に秋たけて
入りつ日赤く照りそいていし
日に一度かもしかゆくど牛守りは
山のなだりにけもの道指す
観月の苗木より求め来て
地像のかたへ植うる桜木

俳句

水甕を伏せてありけれ柿若葉
郭公やこまぎれ合はす袋物
梅雨晴れ間別れの頭ひくき子よ

川柳

農を継ぐ子には車を買わされる
ババの靴履いて千鳥に孫歩き
核兵器胸にかかえて話合い



奥山甲二
小野寺 蕨水
阿部 しげを
増田 三果樹
淡谷 良一
斎藤 昭子
菅野 かね子
鈴木 幸子
佐藤 ナツ

天 空 児

斎藤 義吉

斎藤 貞子

五十嵐 衛

